

# の南九州 議会だより

第 15 号  
平成23年8月5日発行

MINAMIKYUSHU CITY



全国でも珍しい乗用型茶摘採競技大会（知覧町汐見原茶団地）

人件費の減額とむらづくり対策事業費など増額補正	…… 2
人事案件、条例の制定・改正	…… 5
一般質問 9人が登壇	…… 6
あの質問・提言はどうなった	…… 11
市民の声	…… 12

# などを補正

# 6月定例会

6月定例会は、6月21日から7月1日までの11日間の会期で開催されました。

補正予算をはじめ、条例の制定、発委（委員会条例の一部改正）など慎重審議の結果、原案とおり可決、同意されました。

## 一般会計の主な補正

一般会計補正予算の主なものは、人件費の減額8340万7千円、むらづくり対策事業費などの増額4681万9千円で補正後の予算総額を206億2775万8千円としました。

### 総務費

○固定資産税関係費

317万7千円

額娃地域の全棟調査を年度内に完了させるため  
人員体制の強化とデータ入力ソフトの整備を行うものである。

### 民生費

○地域支え合い体制づくり事業費

450万円

地域の高齢者や障害者などへの福祉サービスを提供する活動を支援するための、新たな取り組みなどに対し助成するものである。

○温泉センター管理費

68万円

男女露天風呂及び浴場内のタイルの貼り替え修繕を行うもの。

### 審査の中で

問 修繕に係る市と指定管理者との協定はどう

答 尺貫法による台帳記載を当初約5割程度と見込んでいたが、実際は7割から8割が尺貫法での記載であることが判明した。メートル法に統一し、より精度の高い台帳作成を行うため。

なっているか。

答 1件につき、20万円未満については指定管理者、20万円以上については市が負担する。

委員から 指定管理者制度による管理運営であっても、市も定期的に施設の点検を行い、市民が安心・安全に利用できる施設の維持に努めること。



排水点検口の設置箇所



タイルの剥離が目立つ露天風呂（わくわく川辺）

### 衛生費

○知覧保健センター管理費

6万8千円

施設来所者用に設置してある自動給茶機の排水点検口を設置し、漏水修理を行うものである。

# むらづくり対策費

## 農林水産業費

○農政関係費

161万8千円

さつまいもとお茶の館「知覧の里」の空調機の修繕料と農事組合法人「土里夢たかた」が取り組むそば産地活性化推進事業への補助金である。

～審査の中で～

問 そば産地活性化推進事業について説明を。

答 県が個別所得補償制



老朽化が著しい瀬世上公民館

度において、そばを戦略作物として位置付け、地産地消に積極的に取り組んでいる「土里夢たかた」がモデル産地として選定され、夏そば0.5ヘクタール、秋そば1ヘクタールを作付し、加工、販売まで行うもので、2カ年の継続事業である。

○むらづくり対策事業費

640万円

瀬世上むらづくり推進

委員会の集会施設新築工事費に対する補助である。

○農業経営基盤確立研修施設管理運営費

30万5千円

硬質プラスチックハウスの、天窓の自動開閉に不具合が生じたため修繕するものである。

～審査の中で～

問 天窓開閉の故障原因は。

答 設置後12年経過しており、老朽化による制御基盤の劣化が原因である。

○治山事業費

500万円

県費単独補助治山事業厚地塩入地区の交付決定による工事費である。

## 土木費

○住宅管理費

142万9千円

係争中であった、公営住宅建物明渡しの強制執行に係る経費である。

～審査の中で～

問 修繕料を計上しているが、その内容は。

答 住宅を使用しなくなり、3年以上経過しており、損傷も激しいと考えるが、強制執行まで住宅内の確認が行えないため、給湯器、壁、床などの修繕料を見込み計上した。

○住宅整備事業費

273万6千円

老朽化している市営住宅3棟の解体経費である。

問 滞納となっている住宅使用料は。

答 滞納分については、判決後分納するとの文書を連帯保証人と交わしている。



厚地塩入地区の治山工事箇所

## 教育費

### ○総務係関係

59万2千円

県の定期人事異動に伴う教職員の赴任旅費である。

### ○自主文化事業費

29万4千円

東京国立美術館が実施する優秀映画鑑賞推進事業により映画を上映するための委託料である。

### 審査の中で

委員から この事業で過去2年間川辺文化会館で上映されていることから、今後は、知覧及び穎娃文化会館での実施も検討するよう意見が出された。

## 特別会計

### 介護保険事業

### ○総合相談事業費

99万7千円



優秀映画のパンフレット

### 相談業務に従事する新

期採用職員(社会福祉士)2人の初任給決定に伴い予算に不足が生じるため増額するものである。

### 簡易水道事業

### ○建設改良費

710万円

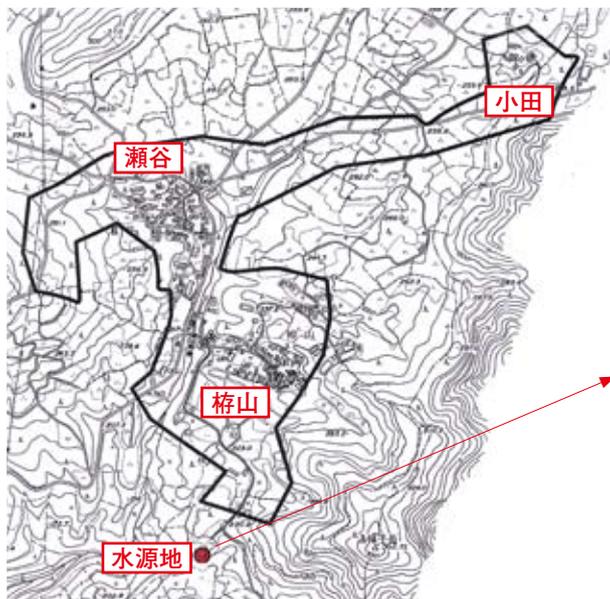
水源探査により、良好な水源が確保されたため簡易水道事業確認申請業務の委託及び用地購入費の増額である。

### 審査の中で

**問** 穎娃嶽地区の水源の深さ及び水量は。  
**答** 深さは、185メートルで、1日当たりの取水可能量は、約180トンである。なお、当地区の給水人口は現在319人で、1人1日当たり最大給水量は、300リットル程度であることから最大使用量は、96トン程度と見込まれ、十分な水量が確保できる。



良好な水源が確保された嶽地区



### 公共下水道事業

### ○管渠及び排水設備維持管理費

100万円

新たに新築計画のある4戸に対し、公共柵設置4基分の工事請負費を増額するものである。

## 企業会計

### 水道事業

### ○総係費

▲84万2千円

職員人件費の減額、臨時職員の賃金単価の見直しによるものである。

## 第2回臨時議会

4月25日、学校給食センター給食用食缶・食器カゴ等の購入に係る物品売買契約の締結について提案され、可決しました。

### ○契約の方法

指名競争入札

### ○契約金

5133万4605円

### ○契約の相手方

鹿児島市伊敷町

4745番地4

鹿児島アイホー調理機

株式会社

代表取締役 長峯昭一

## 第3回臨時議会

5月23日、東北地方太平洋沖地震で被災した岩手県、宮城県及び福島県への義捐金並びに支援物資の運送に要する経費について、414万6千円の追加補正が提出され、可決しました。

# 人事案件

## 議会推薦者が決まりました

### 農業委員会委員

### 参考

本市の農業委員会委員は、次のような代表で構成されています。

## 全国市議会議長会表彰

さる6月15日、東京で開催された第87回全国市議会議長会定期総会において、長年の議員活動を通して、地方自治の発展と市政の振興に貢献した市議員の功績に対し、表彰がありました。

本市議会からは、合併前の町議会議員勤続年数の2分の1の年数に、市議



川辺町 平山 美奈子 氏

※ 同委員は市が議会の意見を求め法務大臣に推薦するものです。任期は法務大臣が委嘱した日から3年間で



加治佐 民生 氏



一氏 とし子 氏



古屋 啓子 氏



外蘭 順子 氏

穎娃町 上別府

知覧町 瀬世

川辺町 田部田

川辺町 田部田

○公選	27人
穎娃地域	9人
知覧地域	9人
川辺地域	9人
○農業協同組合推薦	2人
いぶすき農協	1人
南さつま農協	1人
○農業共済組合推薦	1人
○土地改良区推薦	1人
○議会推薦	4人
合計	35人

た。の議員が表彰されました。

山本森満 議員

(町議会21年3カ月)

竹迫毅 議員

(町議会19年1カ月)

蘭田誠 議員

(市議会3年5カ月)

西良仁 議員

(市議会3年5カ月)

森田隆志 議員

(町議会15年4カ月)

下窪一輝 議員

(町議会13年2カ月)

(市議会3年5カ月)

(市議会3年5カ月)

(市議会3年5カ月)

(市議会3年5カ月)

(市議会3年5カ月)

(市議会3年5カ月)

(市議会3年5カ月)



左から下窪議員、西議員、山本議員、竹迫議員、蘭田議員、森田議員

## 議会委員会の委員定数減

### 2委員会の定数変更

本市議会議員の定数が次の一般選挙から22人になることに伴い、常任委員会の委員定数を変更する改正を行いました。

総務常任委員会 8人→現行  
文教厚生常任委員会 8人→7人  
産業建設常任委員会 8人→7人

## 使用料の改正

### 霜出げんき館

本施設会議室の冷暖房設置に伴い、これまでの会議室使用料のほか、冷暖房使用料を設ける条例を制定しました。

## 条例の制定・改正

### 陳情

### 採択

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択要請について

陳情者：南九州市川辺町田部田4225  
内蘭 直哲

#### 趣旨

- ①少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並のゆたかな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。
- ②教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国負担割合を2分の1に復元すること。

#### 意見書の提出

提出者：南九州市議会  
提出先：内閣総理大臣ほか関係機関

# 行政に問う

## 一般質問

— 9人が登壇 —

議会会議録はここで見れます。

- ◎校区公民館（各館1部）
- ◎市立図書館（各館2部）  
1部は貸出用です。
- ◎インターネット（南九州市ホームページ）



竹迫 毅 議員



菊永 忠行 議員

**菊永** 今回発生した東日本大震災では、想定外の被害が生じており、防災計画の見直しが必要と考  
えるが、本市地域防災計  
画の見直しを行ったか。  
**市長** 避難所など必要な  
箇所の見直しを行うため  
市防災会議を6月3日に  
開催した。想定外の大災

### 地域防災

#### 計画の見直しは

市長／国・県の方針を踏まえ検討

害に備え、現在の基準を見直すことが求められていることから国の中央防災会議及び県でも計画の見直しに向け委員会を立ち上げている。本市も検討中であり今後は、国・県の方針を踏まえて再度地域防災計画を見直さなければならぬと考えている。

**菊永** 大震災により本市の各種事業計画への影響は生じないか。  
**市長** 国土交通省が4月1日に発表した公共事業

### 津波

#### 避難対策は

市長／海拔標示や避難訓練で対応



防災訓練中の消防団員

の予算配分の総額は、被災地へ振り向けることを念頭に5%を留保している。本市の予算に計上している道路整備事業91%、公営住宅整備事業94%で内示があり、松山小学校の大規模改造事業については、現在、内示が保留されている状況であり、今後も要望を続けていく。

**竹迫** 東日本大震災において、予想を超える大津波が発生し、多くの生命財産が失われた。本市も20キロメートルの海岸線を有していることから、避難対策が必要と思う。そこで、海岸地区の集

# 市民の声を

## 市民音頭

### 制作に向けた具体的な考えは

#### 市長／検討委員会を設置

市長 本年度、職員で構成する検討委員会を設置

深町 平成22年12月議会において市民音頭の制定については、市民歌の制定を行った後、広く市民の意見を聞いて早急に制定できるよう努力すると発言している。市民歌が制定されたが、今後の市民音頭制作に向けた具体的な考え方を問う。



深町 幸子 議員

市長 5月19日現在で組織率100%になったことでもあり、今後は防災訓練などを多くの団体で実施

深町 広報紙5月号によると、自主防災組織率は99・7%となっているが、自主防災組織に対し防災訓練を定期的の実施するよう指導、助言を行う考えはないか。

自主防災組織の訓練は市長／引き続き啓発する

し、平成24年度の予算化に向けて準備を進める。



防災訓練に参加する市民

120%機能するように努力する。



あわてない！ 日頃の訓練が大事

避難対策は、日頃の避難訓練が大事で地元の地

津波の避難訓練は、小学校5校、中学校1校で

実施しているが、今回のような大津波を想定して訓練の在り方を見直す必要があると思う。

## 県道整備

# 県への働きかけは

## 市長／粘り強く要望する



塗木 弘幸 議員

塗木 県道整備の要望をしているが、実施されない路線が多く見られる。要望実現に向けてどのように取り組んでいく考えか。

市長 県も厳しい財政事情から新規地区の採択は困難な状況である。今後粘り強く要望を続けていきたい。



改良工事が中断されている穎娃宮ヶ浜線

山喜入線、谷山知覧線、石垣喜入線の折尾地区、霜出南別府線、枕崎知覧線などは、改良工事が中断され、未整備区間が残っているが、今後の見通しをどのように考えるか。

塗木 本年度の県道整備関連事業の実施予定では、川辺、穎娃地域に比べ知覧地域が少ないと感じるが、市長の考えは。市長 市道などの整備実施については、旧3町のバランスを考慮しながら行っている。県の事業についても同様に要望していく。



蔵元 慎一 議員

蔵元 知覧庁舎正面駐車場は出入口が交差点横にあり安全性の面から検証する考えはないか。また、駐車しづらい区画となっているが、改善する考えはないか。

市長 出入口の取り付けについては、今後、駐車場の利便性なども考慮しながら、また、駐車区画についても身障者用、高齢者専用駐車スペースも含めて総合的に検討していきたい。

## 早急な幹線道路整備を

## 市長／事業再開に向けて要望する

蔵元 主要幹線道路谷山知覧線は、物流、観光のルート、そして市民の県都への道路として重要な路線であるが、急カーブ

## 庁舎駐車場

## 改善する考えは

## 市長／総合的に検討する



出入りがしづらい正面駐車場

も多く事故の発生率も高い箇所もある。早急な整備を要請する考えはないか。

市長 現在、筆界未定地や県の事業費削減などの理由から事業休止となっている。川辺地区総合開発期成会でも毎年要望しており、事業が再開できるように今後も強く要望していく。

## 市道整備

### 木佐貫原周辺の整備は

#### 市長／知覧道路の整備を見ながら検討



東 兼喜 議員

**東** 南薩縦貫道（知覧道路）の整備を踏まえ、木佐貫原周辺の幹線道路を優先して整備する考えはないか。

**市長** 知覧道路の整備状況をしながら、今後検討したい。

**東** 総合計画第三期実施計画の市道松崎猿山線の改良事業の目的と効果を示せ。

**市長** 地域の要望や合併に伴う地域間ルートなど交通量が多くなったことや通学路の安全を図る上からも効果が図れる。

**東** 改良事業は幅員7メートルとなっている



幅員狭小な小金園線

が、線形や期間はどうなっているのか。

**市長** この路線は未改良で危険な市道であるが、県道263号線（宮前）に結ぶ計画で、山間部や松崎宮間については測量の原形図を基に今後調査検討したい。

**東** 知覧地域取違地区か

ら城ヶ崎地区区間の市道は、幅員狭小で急カーブもあり交通量も多く、通行に危険な状況であるが改良する考えはないか。

**市長** この路線は南薩縦貫道の「仮称知覧インター」が平久保付近に設置予定である。整備されると交通量が分散されると予想されることから推移を見守っていきたい。

その他の質問  
・新庁舎建設

## 地域防災

### 津波対策は

#### 市長／標高板を設置し住民への周知を図る



永吉 義輝 議員

**永吉** 東北太平洋沖地震規模の津波が来た場合に被害を受ける地域と学校を示せ。

**市長** 穎娃地域は36自治会、知覧地域は7自治会、合計で43自治会が想定される。

**教育長** 小学校、准看護学校、穎娃高校を含め5校である。



整備検討中の長崎荷辛路線

**永吉** 水没予想地域のハザードマップの作成をして住民に周知する考えはないか。

**市長** 現在作成に向け準備中であり、完成したら全世帯に配布する。併せて標高標示の看板などを作成し、主だった所へ設置する予定である。

**永吉** 長崎集落が孤立した場合の対応で市道長崎荷辛路線を避難道として整備する考えはないか。

**市長** 市道長崎荷辛路線の整備を検討中である。

ご当地ナンバープレートを導入する考えは市長／総合的に検討

**永吉** 市が交付している原付やフォークリフトなどに特色のあるご当地ナンバープレートを導入する考えはないか。

**市長** 市のイメージ作りや観光面などの効用も考えられるが、今後調査研究し、費用対効果を含め、総合的に検討していく。

# 防災 地震・津波対策は 市長／防災計画の見直しを行う



加治佐民生 議員

**加治佐** 地震や津波に対する市民の安全対策と、庁舎の耐震対策、市民への連絡体制はどのように考えるか。

**市長** 想定外の地震、津波については、国・県でも防災計画の見直しを行っており、本市もその結果を受けて防災計画の見直しを行わなければならないと考える。庁舎の



川内原子力発電所から50キロ圏内

耐震対策については、頼む・知覧・川辺3庁舎の耐震改修計画を検討する。住民への連絡については地震発生時には緊急を要するため、防災行政無線を活用したい。

**加治佐** 本市は、九州電力の株主であり、川内原子力発電所から50キロ

メートル圏内に位置しているが、安全対策について九州電力へ要請する考えはないか。

**市長** 県市長会で安全対策の緊急決議を行っているが、株主として、安全対策に万全を期すよう要請していく考えである。



下窪 一輝 議員

**下窪** 茶業振興法が4月22日施行されたが、主要内容と評価を問う。

**市長** 茶業振興法により生産から流通・消費拡大など多面的な方策を図るための予算措置もされることになり、本市においても茶業界が活性化される。

**下窪** 日本一の茶産地のブランド統一についてはどう考えるか。

**市長** 本市の茶業は、質量ともに国内最大の産地であり、地域活性化に大きな役割を果たしている。事業効果が最大限に発揮され、茶業の発展と地域経済浮揚が図られるよう、一日も早い統一を図りたい。

**下窪** 市単独の防霜ファン設置面積を拡大する考えはないか。

**市長** 今後の申請状況や未整備地区の状況などを

## 茶業振興

### ブランドの統一は

市長／一日も早く統一を図りたい



一日も早いブランド統一が待たれる南九州茶

勘案し、補助対象面積の拡大を検討したい。

は、どのように対処するか。

**危険通学路対策は**  
**教育長／実施可能な対応策を検討**

**教育長** 抜本的な安全対策について里道を管理する財政課と連携を図り、実施可能な対応策を検討する。

**下窪** 粟ヶ窪小学校東門付近の危険箇所について

# 追跡

## あの質問・提言は どうなった?!



整備が待たれる松崎猿山線

### 質問

竹迫 毅 議員  
平成21年12月定例会

市内幹線道の整備を!



市長  
早期整備に努めたい



本年度市道松崎猿山線・峯苔線の延長  
1,120メートルの測量設計の実施予定

# 議会を傍聴してみませんか。

次の議会は **9月6日** 開会予定  
“手続き簡単” 本館2階で住所・氏名などを書くだけ



知覧町塩屋  
加治佐 正秀  
松山校区公民館の年間行事「議会傍聴」に役員を中心に二十数名で参加しました。以前にも傍聴したことがありましたが、今回は震災に対する市の防災体制についての活発な質疑応答がなされ、議員の方々が、私たちの代表として市民のことを思っ日々活動されていることがわかり、有意義で充実した議会傍聴であったと思いました。

知覧町塩屋  
黒木 ひさよ  
初めて議会傍聴に参加しました。思ったより議場のせまさにびっくり!! その中で、今回の東北大地震を受けて地震防災対策についての質疑応答があり、私たち市民の生活を守るために、日々活動されていることがよくわかりました。これからも市民目線での議会であってほしいと思います。

# 市の民の声



頤娃町 郡  
梶山 起朗

## 議会に期待すること

3町が合併して早4年目を迎えました。

その間、議会・市当局におかれましては市民体育大会、地区対抗駅伝大会、ふれあい球技大会等を企画運営され、市民の交流、融和を図られ、ご尽力なされたことに感謝申し上げます。我が郡地区公民館においても、そのつど公民館運営審議会、自治会長会、体育部会等を通じて、理解、協力し地区民の融和を図るとともに、他地区の皆様とも懇親、交流を重ねております。

議会、市当局に期待することとして、南九州市

に住んで良かったと思われる施策の実行です。

合併当初の基本理念である3町のバランスのとれた発展、活性化するための施策を期待します。

当地区は農業を一つの軸としてすえ、お茶団地、ピーマン、人参等の野菜団地、花卉団地等の造成、集約を図り実績をあげていますが、農業を取り巻く厳しい環境、情勢についてはご承知のとおりです。

足腰の強い、再生産できる農業の確立のため、「安心」「安全」そして「おいしい」農畜産物生産のため、関係機関、団体等、連携をスムーズにし、強い農政の推進を図って欲しいと思います。



川辺町上山田  
加藤 永

## みんなのふるさと

私が生まれ育った川辺町が合併して早3年が経つが、南九州市となった今でも町の明るさや人の暖かさは依然として残っている。ほかにも町の団地を中心とした磨崖仏まつりや二日市などでは、年代を超えた住民の絆が随所にみられる。現代の日本に失われつつあるこのような風景をみると、この町に生まれたことを誇りに思う。しかし、私たちにもっと活気のある町づくりができるのではないだろうか。そこで私はこれからの南九州市をよりよくするために、それぞれの町の特産物、

たとえば川辺町の仏壇、頤娃町のお茶、知覧町の特攻平和会館などの魅力を世界中に宣伝して広めることで、観光客を増やし、町を活性化させることを南九州市議会に期待する。また、歴史ある川辺高校を存続するため

に、川辺高校の良さである生徒の積極的なボランティア活動への参加や明るい校風、勉強や部活動への熱心な取り組みなどを、私たちと共に多くの学生や市民の人々に伝えて欲しい。そうすることで、減少し続けている生徒の数も増え、地域の発展につながるのではないだろうか。

私はこの南九州市が、市民誰もがいつまでも誇れるやすらぎの場所になることを願う。

## 広報編集委員会 研修報告

5月12日～13日までの日程で、福岡県柳川市、熊本県玉名市で、広報編集についての研修を行いました。議会だよりは、議会の動きや予算の審査、議員の活動などをわかりやすく市民の皆さまに伝える役割があります。今後も限られたスペースではありますが「市民の声」をはじめ、皆さまに情報提供をしていただくコーナーを設け、より親しみやすい議会だよりづくりに、委員一同努めてまいります。



玉名市での研修

## 編集後記

6月27日付け、南日本新聞の南風録に「放射能が降っています。静かな夜です。」の見出しで、福島市在住の詩人合亮氏の「詩の礫」の記事が載っていた。放射能の恐怖と水や食料不足、ひっきりなしに襲う余震、未曾有の災害に直面して言葉を失った人は少なくないと綴っている。本市の防災計画は十分なのかと、今回4人の議員が一般質問を行った。市民の住宅や事業所・学校など、津波に対する避難所の見直しが必要との答弁だった。「自分の命は自分で守る」という自衛心と相互の絆が大切と思いつつ、一日も早い被災地の復旧・復興を念じてならない。(峯芒)

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 峯芒 勝範  |
| 副委員長 | 山下 つきみ |
| 委員   | 満留 秀昭  |
|      | 大藪 秀己  |
|      | 加治佐民生  |
|      | 菊永 忠行  |